

MCN 行事に参加して

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナダール マダーブ ナラエン

今年 8 月 9 日～27 日までネパールを訪問した。出発日の 9 日は日本が台風の上陸で関東も暴風だった。上海への飛行機は 5 時間余り遅れ、到着は深夜だった。予約をしていた上海のホテルにも行けず空港に夜を開けた。今回のルートは中国の上海と昆明経由で、お盆の時期としては安い航空券だった。しかし、残念ながら中国国内便も遅れ、それに昆明からカトマンズ行きの便も遅れ、ネパールに着いた頃はちょっと疲れてしまった。

さて、私のネパール訪問は何時ものと同じく、帰国であり、それにミランクラブネパールとミランダルマスタリ学校の計画したミーティングや行事に参加することであった。

ミランダルマスタリ学校では SEE (School Education Examination) 修了式に参加と学校の父母たち (PTA) との交流を図った。そしてミランクラブネパールでは、里子たちの修了式とミランクラブ主催の職業訓練に参加した。

また、恒例のミランクラブの役員達と交流を行い来年ミランクラブジャパンから里子訪問の計画について話し合った。

○ SEE とは？

SEE (School Education Examination) は以前の SLC (School Leaving Certificate) と同等で全国統一高等学校試験である。しかし違いは、今まで 1 等級、2 等級と 3 等級の合否で判定していたのは、SEE ではその評価方法を変え、グレディングシステムにした。グレディングシステムでは、A+ (100～90 点)、A (89～80 点)、B+ (79～70 点)、B (69～60 点)、C+ (59～50 点)、C (49～40 点)、D+ (39～30 点)、D (29～20)、E (29～20 点) と F (19～0 点) に細分化し、成績の評価をしている。

ネパールでは SEE を修了すると、一人前

の大人として認めてもらえ、将来大学へ進学できたり、社会人として会社などでデスクワークの仕事をしてもらえたりする。この傾向が強いことから、自分の子供が少なくとも SEE を修了してほしいと願う家族も一所懸命である。

グレディングシステムでは上位の成績で入れる学校も決まる。良い成績で修了するほど良い学校へ進学でき、D や E 成績で修了した生徒は進学ができない。

そのため、彼らは次年度の SEE にもう一度再挑戦出来るようにしている。

○ ミラン学校の SEE 修了式

ミランダルマスタリ学校の生徒が、SEE 受験に挑戦をしいはじめて、今回で 4 度目。今年度も毎年のように受験した生徒 16 名全員が上位の成績で修了した。

8 月 14 日、学校で生徒たちを祝う恒例の修了式を行った。修了式には生徒の皆に修了証明書を贈呈し祝福をした。

修了式の後、懇親会を開き、先輩後輩の交流を深めた。最後に後輩たちから踊りや歌など披露して賑やかに先輩達を送った。



SEE 修了生達と記念写真 後輩の踊りを披露

ミランダルマスタリ学校は、ご存知の通り 15 前に岐阜淡墨ロータリークラブのご支援で建てた女子小学校である。開校時は入学生 68 名いた。その後、地域のニーズにより、幼稚園生～10 年生まで一貫した小中高の学校になった。生数も増えて現在 457 名いる。ミランダルマスタリ学校の存在はこの地域の子供たちにとって年々増している。今後も皆で見守っていく必要がある痛感した。

このミランダルマスター学校に学び、同じ敷地中内の寄宿舎で小さい時から育ち、その後短大を卒業し、現在日本に留学にきている元里子2人いる。



日本留学中元里子リヤ・パタク左列3番目

一人は、リヤ・パートク女子で東京に住んでいて、日本語学校を通っている。彼女には、7月24日新大久保にあるネパール料理店でランチを食べにいた際、偶然に逢った。彼女も友人たちとランチを食べにきていて、私が店に入ると直ぐに気づいて話を掛けてきた。こういうこと以前スリランカを旅していた時も逢った。なんという偶然、思わぬ嬉しくなってしまった。日本に来ているもう一人の元里子はパシ・セルパで、現在福岡の日本語学校に通っているそうです。

彼女たちの転換もミランクラブの支援があってこそのもので、彼女たちの将来は楽しみである。

8月15日、学校で父母会を開いた。以前ネパールの学校では正規な父母会というものはない。しかし、今年になって、ネパールの教育委員会から全ての学校に父母会を設けるようにと支持があったそうです。昨年、ミランダルマスター学校にも父母会を発足した。

ミーティングに参加された方々からミランダルマスター学校の教育や子供へのマナーについてはとても満足している。今後、可能ならSEE後の11年生と12年生も同じ学校に通えるように学校を増設して欲しいと要望があった。

○ 里子たちのSEE修了式

ミランクラブネパールは、パカナジョールの事務所近くで8月18日（金）にSEEの修了式を行われ、私もこの式典に参加してきた。今回修了した生徒たちは12名で、彼女たちの修了を祝って恒例の修了書証を贈呈した。修了したさ里子の皆がミランクラブに感謝をのべ多くの生徒は進学を望んでいた。



SEEを修了した生徒たちと記念写真

今年からネパールの高等学校の修了期間は、日本と同じく12年間になった。ミランクラブもその制度に沿って10年生修了まで、奨学金を給付すると伝えた。

ネパールでは、高等学校修了出来るのは、自分たちの夢を叶える第一歩であると信じている。家族も子供を12年生まで安心して学校へ通わせることができ、ミランクラブの皆に感謝すると述べていた。

○ MCNの美容職業訓練修了式

同じく8月18日（金）、パカナジョールのミランクラブ事務所付近で、ミランクラブ主催の職業訓練授業修了式が行った。訓練場所はカトマンズのビムセンスタンで講師は元ミランクラブの里子ビッデヤ・ゴパリが努めた。受講者は16名の女子で、職業訓練を終えて既に仕事に就いたものいて、当日は受講者の皆は出席できなかった。

受講生は、今のネパールのニーズにあった美容職業訓練である。受講のチャンスを与えてくれて感謝している。今後上級クラスも行ってほしいと述べていた。



美容師の先生ビッデヤ・ゴパリと受講者たち